

おちゃん だより

2021.9月号 vol.143

株式会社 ISO

保険の相談パートナー

余助康弘 余助
090-1638-5351

この月には
笑いの秋です
楽しんで
下さいね



円相水
久しぶりの
7月です。

短気は損気 ~ ドライブ編 ~

息子(愛知県の大学2年)が今月20歳に。そこで成人式に着いくスーツを新調

することに。私と10年果のお付き合いしている*スタイリストさんにTelすると、「ちょうど〇〇日に愛知県に行きますよー」との返事。息子の会いたい妻と娘と私と「ドライブ」がissの帰りのツアー旅行。Go!! 途中、高速道路が混みだし、大型バスがこちらに入りたそうだったので、妻「入れあげて」

私「わかった」娘「おねおね中」これ減速すると途端にウイカーも付かず、車線変更するバス。私「ヤバー!! 危なすぎん!?!」妻「あんまり怒らんわー」

大バスター私たちの前に入っ一瞬の間の後... 大爆笑 なんとバスの後部に大爆笑

「Komono」の文字が!! 私「小物?...」(ん怒っていた自分の小物と言われたみたい)

思わぬ毒と、いっしょに大笑いでた その時娘は「おねおね中」

小物の私には良い経験でした... ※三重県の菟野町のバス会社でした。

※ スタイリストさんのご紹介。(株式会社イカルト: 末廣徳司さん)

経営者、政治家、医師、作家、漫画家、士業、芸能人、スポーツ選手に
至るまで のべ 15000名を超えるブランド人のスーツを仕立てる また 著書も出版される
日本唯一の 経営者専門スーツ仕立て屋

孤高と孤独



大野将平(柔道・オリンピック2冠)が言った「孤独は先端、ここにいる感じ」

孤高は丘の上に一人だけいれ子存在で下にはたくさんの人に支えられていると
いうこと。今まで自分のために柔道もやってきました。だから勝つまで自分のおかげ
負け下す自分のせいと思っていた。しかし、コロナ禍になって分かったことがあった。
それは自分一人では出来ないことがたくさんあるということ

「孤高と孤独」似てはいるが全然違います。人に支えられていることに
気づいた大野将平さんはもっともっと強くなっていくでしょう。 楽しみますね

= 笑いの時間でよ 15分 =

- ・「出社日は次はいつなの?」妻の圧
- ・借返し言葉如上司に「はい」返し
- ・抱き上げた孫が一言密で遊ぶ
- ・世帯の口和反五感で感じろ! 全集中!
- ・下書きの送信キーを猫が押し
- ・会社では借さうなのねと妻が言う



いつも
ありがとう
ごさあ。
来月号も
お楽しみに!!